

令和3年度 農業やる気発掘夜間ゼミ オンライン ～受講生からの質問と回答～

【開催】第3回 病虫害防除と農薬の基礎

NO	質 問	回 答
1	アブラムシの防除に食器洗い洗剤や牛乳、食用油を使用することはいけないことでしょうか。	・使用者の自己責任（効果、雑菌繁殖などのリスク）で使用することは特に問題ありません。しかし、アブラムシの防除効果を謳（うた）って、販売をすることは農薬取締法で禁止されています。
2	実際に作物を栽培する際に農薬を使用する場合は、調べながら注意して行いたいと思います。参考のURL等を教えていただきたいです。	・農林水産省ホームページ（農林水産省農薬登録情報提供システム） https://pesticide.maff.go.jp/ ・農薬工業会ホームページ https://www.jcpa.or.jp/
3	農薬の散布量に制限はありますか。	・散布量にも制限があります。農薬のラベルに記載されているので散布される場合はラベルの内容を守って使ってください。
4	実際にどれくらいの割合で、害虫などが発生するのですか？ 郡上などでトマトの栽培が行われているようですが、生産性はどれくらいでしょうか。	・ほ場の場所や条件（排水性、ビニールハウスなど）で病虫害の発生は異なるので一概には回答できませんが、まったく防除（薬剤など含む）をしなかったときの減収率は例えばトマトでは平均約36%、リンゴでは97%、水稻は24%などのデータはあります。 ・岐阜県内で生産されるトマトは夏から秋に収穫する夏秋トマト（飛騨、郡上、白川、恵那地域など）と冬から春にかけて収穫する冬春トマト（海津地域中心）があります。それぞれの10アールあたりの1シーズンの収穫量は夏秋で約8トン、冬春で約20トンとなります。